

2020～2023年 JHF教員・助教員検定の受検について

1 検定科目

教員・助教員の受検科目は同一で3種類、6項目です。
教員・助教員で合格基準が異なります。

① 学科検定問題（教員は集合検定 助教員は教員検定員/助教員検定員が検定）

- ・ J H F 学科検定問題 教員・助教員 7 6 問（選択式・記述式）

J H F 教本参照

- ・ 日本スポーツ協会指導者養成テキスト(Reference Book)

学科問題 6 0 問

② フライト実技検定

- ・ グランドハンドリング実技

N P 課程 S 字スラローム

教本・実技DVD参照

- ・ フライト実技

N P ・ P 課程の練習生に見せる模範フライト実技

教本・実技DVD参照

③ 教習実技検定

- ・ 教習実技検定

学科のレクチャー実技、課題の講義 教本参照

- ・ 無線誘導実技

B 級レベル練習生の T O から L D までの無線誘導

無線誘導の注意点 参照

2 受検に必要な資料は以下の3種類です。

① 教員・助教員のためのDVD 他資料

- ・ 教員・助教員に必要な知識
- ・ 教員・助教員検定科目

② J H F 教本

③ J H F 実技DVD T O & L D 編 フライト編（P G のみ）

助教員・教員検定の流れ

助教員の場合	教員の場合
受検希望者は 所属する都道府県連盟に申し込む	受検希望者は所属する都道府県連盟の推薦を受け JHFに申し込む （受検料2万円）
都道府県連盟は助教員検定員または教員検定員を選任	JHFは受検者と調整を行い教員検定員を1名選任
都道府県連盟に助教員検定員または教員検定員が在籍しない場合、都道府県連盟はJHFに助教員検定員または教員検定員の派遣依頼を行うことができる	教員検定員は受検者と日程の調整を行う
都道府県連盟は助教員検定会開催をJHFに申請	↓
JHFはWEBに助教員検定会開催情報を掲載	↓
他の都道府県の受検者も受検可能（ただし所属県連の承認が必要）	↓
受検者確定 JHFは受検資料、体育協会テキスト（有料）を受検者に送付 （受検資料DVDは更新講習会資料DVDと同一）	
助教員検定員または教員検定員は助教員検定を実施 ・実技検定（グラハン&フライト） ・教習実技検定（無線誘導実技&学科教習実技） ・学科検定 I JHF学科検定問題（選択式） II 日本スポーツ協会Reference Book問題（60問）	検定員は実技検定及び無線誘導実技を実施 ・実技検定（グラハン&フライト） ・教習実技検定（無線誘導実技）
検定員は合否判定を行いJHFに報告	
↓	学科検定及び教習実技は合同で毎年2月に 教員・スクール事業委員会 が行う。 受検料2万円。 <u>実技合格前でも受検可。</u> ・教習実技検定（学科の解説実技） ・学科検定 I JHF学科検定問題（記述式） II 日本スポーツ協会Reference Book問題（60問）

↓

教員・スクール事業委員会は合格者をJHF
事務局に報告

一部合格者には一部合格証を送付（2年有効。2年後の同じ月の月末まで）

一部合格者は不合格科目を2年以内に再受検する

JHFは合格者に助教員申請書を送付

JHFは合格者に教員申請書を送付

全科目合格者は所属する都道府県連盟の推薦を受けJHFに申請

JHFは合格者に助教員技能証を発行

JHFは合格者に教員技能証を発行

不合格者は不合格科目について再検定を受けることができる。

ただし、再検定料は必要です。（各科目 3000 円）

合格まで指導を受ける場合は各スクールの規定に従ってください。
